

平成28年第9回定例教育委員会

平成28年9月27日(火)午後2時30分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長	月田健二	説明員	教育部長	渡部丈司
	委員	支部英孝		教育部次長	萬直樹
	委員	郷早見		学校教育支援室長	
	委員	橋本幸子			伊藤忠信
	委員	林大輔		総務課長	山崎正樹
				総務課主幹	松崎英明
				学校教育課長	廣田修
				教育支援課長	浦田和秀
				給食センター長	内藤信治
				対雁調理場長	鈴木正春
				生涯学習課長	佐々木倫子
				スポーツ課長	三浦洋
				情報図書館長	山岸博
				郷土資料館長	榎田智幸
				郷土資料館主幹	兼平一志
			記録員	総務課総務係長	星野崇
			傍聴者	なし	

1 報告事項

- (1) 平成28年第3回江別市議会定例会の一般質問について
- (2) 平成28年度小中学生国内交流研修事業について

2 審議事項

- (1) 平成28年議案第37号
平成28年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への掲載同意について
- (2) 平成28年議案第38号
江別市指定文化財の指定に係る諮問について

3 その他

- 次回教育委員会予定案件について
- 平成28年第10回定例教育委員会の日程について

会 議 録

月田教育長

(開会)

それでは、ただいまから、「平成28年第9回定例教育委員会」を開会いたします。
本日の議事日程は配付のとおりです。
会議に先立ち、本日の会議録署名人を橋本委員にお願いいたします。
それでは、議事に入ります。

渡部教育部長

1の報告事項(1)「平成28年第3回江別市議会定例会の一般質問について」の報告を求めます。渡部教育部長お願いいたします。

平成28年第3回江別市議会定例会の一般質問についてご報告いたします。

教育委員会関係分は、9月14日と15日に、4名の議員から一般質問がありました。

初めに、本間議員から、北海道林木育種場旧庁舎の保存と利活用についての質問があり、旧庁舎については、これまで外観を整備しながら、週末や祝日に内部の一般開放等をしていること、維持管理経費は年間200万円程度であり、今後も専門家の意見を取り入れながら計画的な改修工事が必要なこと、利活用に向けた事業者の公募は、これまで応募はなく、現在も募集を継続していること、今後の利活用については、新たな民間活用の手法や考え方を、引き続き検討しながら、地域の歴史的な遺産として、後世へ残していきたいと答えております。

本間議員からの再質問への答弁では、中長期的な改修計画の必要性については、建築物保全の専門家と相談しながら検討していくこと、公募条件の見直しについては、全国的な先進事例を調査・研究し、事業者が投資に前向きとなるような公募条件の見直しを検討していきたいこと、旧庁舎保存の総合的な計画の必要性については、引き続き専門家と相談しながら検討していくと答えております。

次に、星議員から、コミュニティ・スクールの導入、他1件について質問があり、コミュニティ・スクールについては、持続的な地域との連携体制が構築されるなどのメリットがあることから、現在、教育委員会と教職員による検討が進められており、今後の対応について、学校やPTA、地域等と協議していくこと、また、青少年の健全育成や地域防犯等、多くの役割を担っている地域の自治会等との連携については、十分留意していくと答えております。

次に、教職員における応急手当の対応については、平成19年度から延べ18回、404名の教職員が救命救急講習を受講しており、このほか一般救命救急講習には、平成27年度に3校46名の教職員が参加していること、今後は、学校単位で救命講習を実施し、概ね3年で全校を一巡する体制の構築を検討し、救命講習の充実に努めていくと答えております。

また、アドレナリン自己注射薬を処方されている児童生徒への対応については、教育委員会が作成した対応マニュアルに基づき校内研修を励行させるなど、今後も引き続き、校内体制の確保に努めていくと答えております。

星議員からの再質問への答弁では、コミュニティ・スクール導入のメリットについては、今後、検討を進める中で具体化していくものと考えていること、救命講習の受講計画については、概ね3年で全校を一巡するサイクルの中で、教職員が継続して受講できるよう配慮していくと答弁しております。

次に、諏訪部議員から、学校における災害対策、他1件について質問があり、学校における災害訓練については、文部科学省の指導に基づき、様々な災害を想定した訓練を継続していくとともに、より一層、児童生徒や教職員の防災に対する意識や知識、実践力の向上に努めていくと答えております。

次に、子供の安全については、平成13年導入の「子ども110番の家」の現在の登録数は、約1,500件であり、犯罪行為の未然防止に大きな役割を果たしていることから、今後も、学校やPTA、地域の自治会等と連携して、登録者数の増加に努めていくこと、防犯に関する情報は、「子ども110番の家」を含め、地域全体で共有できる仕組みが必要なことから、今後、学校等の協力を得ながら検討していくと答えております。

また、「子ども110番の家」の登録後、一定の期間が経過した方については、掲示プレートの更新等を含めて、随時、継続の意向を把握できる仕組みづくりを検討すると答えております。

次に、石田議員から、コミュニティ・スクールの取り組みについて質問があり、コミュ

渡部教育部長	<p>ニティ・スクールは、学校と地域がパートナーとなって子供や学校が抱える課題を解決し、子供たちの豊かな成長に向けた取り組みを進めていくものと考えていること、現在、学校や地域への周知方法、制度実施する場合の運営手順等の検討を進めており、今後の対応について、学校やPTA、地域等と協議していくと答えております。</p> <p>また、現在活動されている各種団体等との関係については、これらの活動が「地域から学び、地域をつなぐ、そして地域とともに考える学校づくり」の基盤と考えていることから、コミュニティ・スクール制度との関わり方についても、十分に考慮すると答えております。以上であります。</p>
月田教育長	<p>ただいま報告のありました「平成28年第3回江別市議会定例会の一般質問について」質問等がありましたらお受けいたします。</p>
橋本委員	<p>アドレナリンの自己注射のことですけれども、対象となる児童生徒は、今、どのぐらいいらっしゃるのでしょうか。</p>
渡部教育部長	<p>現在市内で11名おります。どの学校も校内研修を受けて、全職員が対応できるように対策を整えております。以上です。</p>
月田教育長	<p>11名ということですね。</p>
橋本委員	<p>以外と少ないですね。</p>
月田教育長	<p>他にございますか。</p>
郷委員	<p>今のお話しですけれども、給食における対応などはあるのでしょうか。</p>
内藤給食センター長	<p>アレルギーを持っている児童生徒に関しては、それぞれ症状が違うので個別に対応しており、必要であれば保護者も交えて学校と連携しながら対応したいと考えています。</p>
月田教育長	<p>他にありませんか。</p>
郷委員	<p>救命講習の件ですけれども、講習には、AEDの使用方法も含まれているのでしょうか。</p>
渡部教育部長	<p>含まれております。ただし、90分の救急講習には含まれておりませんが、3年で全校を一巡するサイクルの中で行う講習では、含まれた内容の講習になります。以上です。</p>
月田教育長	<p>AEDの部分が大きく占めていますね。</p>
郷委員	<p>そうですね。各学校に1つずつ設置されていますから。</p>
月田教育長	<p>他ございますか。</p>
	<p>(質疑終了)</p>
	<p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p>
	<p>(一同了承)</p>
	<p>次に、報告事項(2)「平成28年度小中学生国内交流研修事業について」報告を求めます。佐々木生涯学習課長お願いいたします。</p>
佐々木生涯学習課長	<p>平成28年度の小中学生国内交流研修事業について、ご説明いたします。</p> <p>報告事項(2)の1ページをご覧ください。</p> <p>今回の訪問団のメンバーにつきましては、記載のとおりですが、団長には、江別第一小学校の黒川淳司校長、児童生徒の引率として大麻泉小学校の芥川智子教諭をお願いしております。また、担当の生涯学習課青少年係から、横山花鈴主事が同行いたします。</p> <p>参加者は、小学5年生が7名、中学2年生が3名、合計10名です。各参加者は、今年度の派遣割当てに該当する小・中学校からそれぞれご推薦をいただき、名簿のとおり決定したものです。</p> <p>行動予定は、裏面2ページに記載のとおりですが、訪問する児童生徒については、初日の11日、二日目の12日は、各家庭にホームステイをします。</p> <p>12日は、今回の受け入れ校であります、宇佐小学校、新居小学校、高石小学校、土佐南中学校、高岡中学校、戸波中学校で交流学习を中心とした学校生活の体験を行います。</p> <p>また、後半の二日間については、ご覧のとおり、土佐市、高知市などにおいて、体験活動を中心に見聞を広めるプログラムとなっております。</p> <p>8月25日に第1回目の事前研修会を行い、自己紹介の中でそれぞれ研修事業にのぞむ思いや意欲を発表し合ったのち、訪問計画や役割分担の確認、歓迎交流会の出し物を決定しました。</p> <p>9月5日と15日の研修では出し物の練習を、26日に最終の事前研修を行いました。今後は、9月29日には市長への出発のあいさつ、そして、研修本番を迎えることとなっております。以上でございます。</p>
月田教育長	<p>ただいま報告のありました「平成28年度小中学生国内交流研修事業について」質問等</p>

<p>月田教育長</p> <p>廣田学校教育課長</p>	<p>がありましたらお受けいたします。 (質疑なし) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承) 続いて、2の審議事項に入ります。(1)平成28年議案第37号「平成28年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への掲載同意について」の説明を求めます。廣田学校教育課長お願いいたします。 議案第37号平成28年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への掲載同意について、ご説明いたします。 全国学力・学習状況調査は、文部科学省が、全国学力・学習状況調査に関する実施要領に基づき、小学6年生と中学3年生を対象に、児童生徒に対する教科に関する調査および質問紙調査、並びに学校に対する質問紙調査を平成19年度から実施しているものです。 平成26年度から、都道府県教育委員会が、市町村教育委員会の同意を得た場合に、市町村名または学校名を明らかにして調査結果を公表することが可能になったことを受けまして、平成27年度の調査結果については、昨年9月の定例教育委員会においてご承認をいただき、北海道教育委員会が作成した市町村名を明らかにした報告書において、江別市の結果が公表されております。 まず、1の同意内容につきましては、北海道教育委員会が、調査結果を一層きめ細かく分かりやすく説明するため、市町村名を明らかにした資料により、各教科の成果と課題が明確になるよう、平均正答率や、問題別・領域別のレーダーチャート、さらに分析結果や改善方法について、公表することに、同意を求めているものです。 2の同意理由につきましては、江別市教育委員会といたしましては、小中学校の設置管理者として、調査の結果を様々な角度から分かりやすく公表することにより、学校・家庭・地域・行政が地域の学力の課題を共有し、教育施策の改善や児童生徒の学習状況の改善に取り組むことが重要であることから、北海道教育委員会の公表依頼に同意したいと考えるものです。 具体的な公表の内容につきましては、資料の2ページ以降に、例が示されておりますのでご覧ください。 2ページの様式を基本フォーマットとして、3ページから4ページに記載されているデータ例を参考とした分析結果を掲載する形で作成され、各市町村につき、小学校分1枚、中学校分1枚それぞれ作成されるもので、昨年と同様の考え方による公表となります。 なお、公表の時期につきましては、11月をめどに予定しているとのことです。 以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>月田教育長</p> <p>櫛田郷土資料館長</p>	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がありましたらお受けいたします。これは昨年も同じですね。よろしいですか。 (質疑なし) それでは、平成28年議案第37号「平成28年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への掲載同意について」を承認することにご異議ありませんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。 次に(2)平成28年議案第38号「江別市指定文化財の指定に係る諮問について」の説明を求めます。櫛田郷土資料館長お願いいたします。 議案第38号江別市指定文化財の指定に係る諮問について、ご説明いたします。 このたび、江別市文化財保護条例施行規則第5条の規定に基づき、市内条丁目地区に所在する旧岡田倉庫の江別市指定文化財指定について、所有者である江別市から教育委員会に申請がありました。 申請物件の概要につきましては記載のとおりであります。 この申請を受け、江別市文化財保護条例第6条第3項の規定により、江別市文化財保護委員会において審議いただくため、裏面記載のとおり諮問いたしたいので、ご承認くださいますようよろしくお願い申し上げます。 なお、条例、規則の関係条項については別紙資料をご参照願います。以上です。</p>
<p>月田教育長 支部委員</p>	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がありましたらお受けいたします。 この江別市文化財保護委員会の人員構成や学識経験者の方など参考となるようなものが</p>

支部委員 櫛田郷土資料館長	<p>あれば、教えていただきたい。</p> <p>江別市文化財保護委員会につきましては、別紙の資料の文化財保護条例の第5条に基づいて設置されておりまして、学識経験者の中から10名が委員となっています。委員の所属団体等につきましては、例をあげますと、江別市屯田兵の子孫で江別屯田兵村遺族会の会長であり、郷土史に深く知見を有する方と北海道博物館学芸員の方の2名がおり、それぞれ古建築や考古学に関し、専門的な広い知見を有しております。</p>
月田教育長	<p>また、札幌市や千歳市、江別市の市史編さんなどに関わり、こちらも郷土史に関して幅広く知見を有している方が1名おります。</p> <p>その他、郷土に根ざした活動を続けている江別市野幌太々神楽の伝承会に所属している方もおります。委員の主なプロフィールに関しては以上であります。</p> <p>他にございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、平成28年議案第38号「江別市指定文化財の指定に係る諮問について」を承認することにご異議ありませんか。</p>
佐々木生涯学習課長	<p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>続いて、3のその他に入ります。</p> <p>次第にはございませんが、各課所管事項「江別市民ミュージカル公演結果について」の説明を求めます。佐々木生涯学習課長お願いいたします。</p> <p>8月27日、28日に開催いたしました市民ミュージカル「つよお～いもの～みえてるかな?だいじなもの～」の公演結果について、ご報告いたします。</p> <p>当該事業は、平成11年度に初演を行って以来、3年に1度という形で実施しており、今回が8回目の公演となります。</p> <p>今回の公演には、公募で集まった小学1年生から81歳までの一般の方が22名、客演が1名、計23名の方が出演しました。</p> <p>また、高校生以下の出演者の父母には、スタッフとして小道具や衣装の製作、公演中の舞台助手として協力していただきました。</p>
月田教育長	<p>出演者やスタッフからは、またミュージカルに出たい、今後も積極的に協力したいという声が多く出ており、当該事業の実施が文化活動の底辺の拡大につながっております。</p> <p>入場者総数は、675名と盛況でありました。</p> <p>今後も継続してこの事業を実施していくことが、市民の自主的な文化活動の拡大につながっていくものと考えております。以上です。</p> <p>本件に対する質問等がありましたらお受けいたします。</p> <p>私からですけれども、このミュージカルを観に行きました。とても素人である市民が演じているとは思えないくらい大変素晴らしい出来でありました。本当にご苦労さまでした。その他、ありませんか。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、よろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p>
山崎総務課長	<p>次に、次回定例教育委員会予定案件及び日程について、説明をお願いいたします。山崎総務課長お願いいたします。</p> <p>次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、「平成29年度予算編成方針について」などを予定してございます。また、次回、定例教育委員会の日程でございますが、10月26日水曜日午後2時30分からと考えてございますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p>
月田教育長	<p>ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は10月26日水曜日午後2時30分からということで、皆様、よろしいでしょうか</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、以上をもちまして、第9回定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p>(閉会)</p>

終了 午後2時54分

署名人（教育長） 月田 健二

署 名 人 橋本 幸子